

本学遺伝子実験センターと理化学研究所植物科学研究センターが学術・研究交流協定を締結

本学遺伝子実験センターと独立行政法人理化学研究所横浜研究所植物科学研究センターは、相互の学術研究に係る連携に関し、学術・研究交流協定を締結しました（2006年5月1日付け）。6月27日に遺伝子実験センター関係者が理研植物科学研究センターを訪問し（写真）、交流の推進に関して意見交換を行いました。

この協定は、両センターが組織的な連携と協力を行うことにより、遺伝子組換え植物の開発・評価と産業利用分野における研究及び開発を推進し、社会の発展に寄与することを目的とします。具体的には、（1）モデル植物及びモデル作物をはじめ、種々の植物の生理機能に関わる遺伝子およびゲノム機能の解析、（2）遺伝子組換え植物の開発、遺伝子組換え植物の作製・評価、（3）遺伝子組換え植物の産業利用分野での共同研究活動を実施します。これらの活動を実施することにより、基礎研究から開発研究まで一貫して実施できる世界屈指の植物遺伝子・ゲノム研究拠点が形成できるものと期待されます。



（鎌田本学遺伝子実験センター長(左)と篠崎理研植物科学研究センター長(右)）

理研植物科学研究センターに於いて